

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	簿記原理（Principles of Bookkeeping）		
ナンバリングコード	E10601	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 基礎レベル 会計ファイナンス
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E031651	クラス名	-
担当教員名	吉本 圭一郎		
履修上の注意、 履修条件	原則として、「簿記入門」の単位を取得していることが、履修の前提条件です。授業では毎回教科書を使用しますので、必ず用意してください。 ・簿記は積み重ねの学問です。授業を休まないようにしてください(欠席すると講義がまったく理解できなくなるおそれがあります)。 ・電卓(計算機)を必ず持参すること。		
教科書	・並木秀明『日商簿記3級をゆっくりていねいに学ぶ本 第2版』(中央経済社)。		
参考文献及び指定図書	・桑原知之『日商簿記3級とおるテキスト(第3版)』(ネットスクール出版)。 ・桑原知之『日商簿記3級とおるトレーニング(第3版)』(ネットスクール出版)。		
関連科目	簿記入門, 会社簿記, 原価計算論, 管理会計論, 財務諸表論, 監査論, などの会計科目		

○基本情報		
授業の目的	簿記入門の学習内容を土台にして、簿記入門で取り扱わなかった日商簿記検定3級の個別論点および財務諸表の作成を取扱い、日商簿記検定3級の出題範囲の学習を完成します。実際に検定試験を受験する学生や、会計学を専攻する意思のある学生の、今後の学習への土台を作ります。	
授業の概要	様々な取引の処理や帳簿の記入方法、決算の処理を身に付けます。技術を習得する側面が強い ため、簿記入門以上に問題演習に重点を置いて進めます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	本授業の実務経験として、一般企業の経理業務、決算申告業務に従事。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	簿記・会計の意義を理解し、演習に対して積極的に取り組んでいること。			15点
【知識・理解】	簿記・会計の意義と簿記一巡の流れを理解していること。	70点		
【技能・表現・コミュニケーション】	日商簿記検定3級相当の技能を身に付けていること。		5点	
【思考・判断・創造】	取引の特徴を理解して、会計処理を考察できること。		10点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
・授業時もしくは授業後に課題やレポートなどを課しますので、必ず提出してください。 課題やレポートは、次回以降の授業中に講評・解説をおこないます。 ・簿記の知識・技術を確実に身につけたかどうか、最後に試験(70点)をします。試験は筆記用具と電卓以外、持込不可です。 ・Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル:ほぼ満たしている。Bレベル:なんとか満たしている。Cレベル:一部分満たしている				

○その他
授業内容についての質問はEメール(yoshimoto@nbu.ac.jp)でも受け付けます。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	簿記原理 (Principles of Bookkeeping) 吉本 圭一郎	授業コード	E031651
学修内容					
1. ガイダンス, 簿記の基礎					
本授業の進め方など, ガイダンスをうけたあと, 前期学習した簿記の基礎(「簿記入門」)の復習を行い, 複式簿記の特徴を理解します。					
予習	教科書の第1章から第11章までを熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。確認問題に取り組む。				約2時間
2. 三分法で計算する商品売買					
教科書「第12章 三分法で計算する商品売買益」(P83～88)について理解します。					
予習	教科書の第12章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P87の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
3. 帳簿上(仕訳)で計算する売上総利益					
教科書「第13章 帳簿上(仕訳)で計算する売上総利益」(P89～98)について理解します。					
予習	教科書の第13章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P96の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
4. 商品有高帳の記入					
教科書「第14章 商品有高帳の記入」(P99～104)について理解します。					
予習	教科書の第14章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P103の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
5. 手形の仕訳					
教科書「第15章 手形の仕訳」(P105～108)について理解します。					
予習	教科書の第15章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P108の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
6. 有形固定資産の仕訳					
教科書「第16章 有形固定資産の仕訳」(P109～118)について理解します。					
予習	教科書の第16章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P118の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
7. 貸倒引当金の仕訳					
教科書「第17章 貸倒引当金の仕訳」(P119～126)について理解します。					
予習	教科書の第17章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P125の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
8. 前払いした費用と前受した収益の仕訳					
教科書「第18章 前払いした費用と前受した収益の仕訳」(P127～132)について理解します。					
予習	教科書の第18章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P131の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	簿記原理 (Principles of Bookkeeping) 吉本 圭一郎	授業コード	E031651
学修内容					
9. 払っていない費用と受け取っていない収益の仕訳					
教科書「第19章 払っていない費用と受け取っていない収益の仕訳」(P133～140)について理解します。					
予習	教科書の第19章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P139の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
10. まとめ1 精算表の作成					
教科書「第20章 まとめ1 精算表の作成」(P141～150)について理解します。					
予習	教科書の第20章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P148の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
11. まとめ2 貸借対照表と損益計算書の作成					
教科書「第21章 まとめ2 貸借対照表と損益計算書の作成」(P151～158)について理解します。					
予習	教科書の第21章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P156の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
12. 株式会社の資本金と配当金					
教科書「第22章 株式会社の資本金と配当金」(P159～164)について理解します。					
予習	教科書の第22章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P163の練習問題と確認問題に取り組む。				約2時間
13. 総復習と日商簿記検定対策					
教科書「補章 総復習と日商簿記検定対策」(P165～172)について理解します。					
予習	教科書の補章を熟読する。				約2時間
復習	教科書と資料を熟読する。P167の問題演習と確認問題に取り組む。				約2時間
14. 問題演習1					
試算表の作成問題などを解き, 知識・技術の定着化を図ります。					
予習	教科書の読み込み				約2時間
復習	教科書, 配付資料の読み込み, 問題の反復実施				約2時間
15. 問題演習2					
財務諸表の作成問題などを解き, 知識・技術の定着化を図ります。					
予習	教科書の読み込み				約2時間
復習	教科書, 配付資料の読み込み, 問題の反復実施				約2時間
16. 期末試験					
15回までの講義内容を試験範囲とします。筆記用具, 電卓以外は持ち込み不可です。					
予習					
復習					